

## 第52回(2022年度)接着技術学校受講案内

日本接着剤工業会  
接着技術学校

### 1. 受講のおすすめ

接着は木工、建築、紙・包装、電気機器、自動車、機械類など、あらゆる産業で用されていますが、接着の良否がこれらの産業における製品の品質に大きな影響を及ぼします。

接着には、大別して接着剤の選択、接着設計、接着技術の3つの要素があり、これをどう管理するかによって接着の成否が左右されます。しかし実務に携わっていて、接着剤及び接着技術を体系的に修得することは容易ではありません。

そこで本講座は、誰でも容易に新しい知識、技能に習熟できるよう、通信教育により1971年に開講しました。今年で52年目を迎えますが、毎年約150名の受講者があり、修業者のうち約6,373名の方が接着管理士の資格を得て、現場指導者、販売技術者、研究技術者等として各界で活躍しています。

第52回接着技術学校受講生募集に当たり、進んで受講され、正しい接着管理技術を修得されるようおすすめ致します。

### 2. 内 容

接着技術学校の期間は1年です。まず受講手を完了されますと受講票、学習要領及び接着剤読本が配布されます。次いで5月上旬に最初のテキスト（基礎編）が配布されます。テキストは全3巻の構成となっており、各巻ごとに演習問題を配布して解答を求め、採点の上、模範解答と共にお返しします。最後に東京と大阪の2会場で総合講義（スクーリング）を行い、規定の単位を得たものを修業とします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況によっては入門講座、スクーリングはZoomによるオンライン開催となる場合もあります。また修業式、管理士認定式は開催しない場合があります（修了証、認定証書は郵送）のでご了承下さい。

また、2023年2～3月頃、接着管理士試験を催行する予定ですが、感染拡大状況によってはリモート開催（Zoom）、延期、或いは中止となる場合がありますので予めご了承下さい。

### 3. 課 程

接着の対象によって、つぎの5つの課程を設けます。受講者の専攻希望により選択しますが、同時に2つ以上の課程を受講することもできます。

#### (1) 木質・建材接着コース

木工における接着を対象とし、各種木材用接着剤、さらに建材等の接着作業の実践的な技術の修得を期します。

#### (2) 建築接着コース

建築の接着工法の急速な進歩に呼応して、建築用接着剤全般、現場施工における接着工法等の修得を期します。

#### (3) 紙・包装接着コース

紙・包装の広範囲な接着を対象にして、これに使用される接着剤、および接着作業、さらにプラスチックラミネートも含めた技術の修得を期します。

#### (4) 金属・複合材料接着コース

各種の金属および異種材料との接合も含めて、金属及びその複合材料関係の接着剤、接着作業の技術修得を期します。

#### (5) プラスチック接着コース

各種プラスチックの表面処理、接着方法をはじめ、実際の接着例等、主として硬質プラスチックの接着技術修得を期します。

### 4. 実 施 期 間

(1) 5月に開講します。

(2) 5月～12月を通信教育期間とし、5月下旬にテキスト第一巻、6月下旬にテキスト第二巻、8月下旬にテキスト第三巻を配布します。

(3) 7月に日本接着剤工業会が主催する入門講座があり、受講生は無料で受講できます。

(4) 翌年1月下旬～2月上旬頃に、スクーリングを行います。

(5) 翌年4月、修業式。

### 5. 通 信 教 育

テキストを全3巻配布し、テキストごと演習問題を配布して解答を求め、採点の上、模範解答とともに返送します。

### 6. テキストの内容

コースによって多少の違いはありますが、内容はおよそ次のとおりです。

## 第1巻（接着の基礎）

各種接着剤の長所・短所、種類と分類、接着理論、代表的な接着剤、試験方法、法規制などについて説明します。

## 第2巻（接着の実際Ⅰ）

接着に当たっての接合部の設計、接着剤の選択、表面処理法、施工法などについて述べ、実際例をあげて説明します。

## 第3巻（接着の実際Ⅱ）

第2巻につづいて実際例について説明、接着不良の原因と対策などについても解説します。

## 7. スクーリング

2023年1月下旬～2月上旬頃に東京と大阪の2会場で実施します。 複数コースをご受講の場合、スクーリングのスケジュールによっては、ご受講できないコースが出る場合がありますので御了承下さい。

## 8. 修 業

添付した演習問題等により一定単位以上を修得したものを修業とし、修業証を授与します。必要単位については、あらためて学習要領でお知らせします。

## 9. 受 講 料

1コースにつき45,000円、2コース以上受講する場合は、1コース増すごとに25,000円。 すでに受講した方が他のコースを受講する場合は1コースにつき25,000円。

## 10. 申 込 み

当工業会ホームページのNEWS／お知らせの「第52回接着技術学校受講生申込受付のご案内」から、4月末日までにお申し込み下さい。

（手続きの都合で遅れる場合には、その旨ご連絡下さい。）

## 11. 受講料の払込み

銀行振込みで、4月末日までにお払込み下さい。 三菱UFJ銀行神保町支店（No.1628236）、またはみずほ銀行神田支店（No.909443）の接着技術学校普通口座です。受講料受領いたしましたら、3月初旬より順次、受講票と接着剤読本、学習要領をお送りします。 請求書の必要な方は、申込みフォームに記入して下さい。

## 12. お 問 合 せ

日本接着剤工業会（電話 03-3251-3360）にお問合せ下さい。

# 接着管理士制度

接着技術学校の修業者には接着管理士の受験資格が与えられます。この制度は、主として接着技術学校の修業者を対象に認定試験を行い、合格者に対して接着管理士の称号を贈り、接着管理技術の修得者であることを明らかにするものです。

尚、昨年と同様に今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じて認定試験をリモート開催(Zoom)、延期、或いは中止とする場合があります。予めご了承下さい。

## 記

### 1. 受験資格

- (1) 接着技術学校を修業、あるいは修業見込みのもの。
- (2) 接着あるいは接着剤の技術に関係のある業務に従事しているもの。

### 2. 認定試験

- (1) 2023年2～3月(予定)に行います。なお、毎年1回実施する予定です。
- (2) 試験はコース別の筆記試験です。試験の程度は、接着技術学校修業見込み程度です。

### 3. 認定

認定試験に合格し、規定の認定料を納入したものに対しては、接着管理士の称号を授与します。

### 4. 認定試験料、認定料

- (1) 接着技術学校修業者は認定試験料 5,000 円。認定料 10,000 円 (合格通知後)
- (2) 接着技術学校を修業しないで認定試験を受けるものは、認定試験料 5,000 円。  
認定料 45,000 円。

## 日本接着剤工業会 接着技術学校

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-10-4  
TEL 03 (3251) 3360  
FAX 03 (3251) 3380